

# 牛乳の消費拡大運動を進めよう

業務部長 船橋 清

## 酪農の現況は

最近、生乳の生産量は飼料価格の安定や酪農の収益性の向上など酪農をとりまく環境が若干好転したことが反映して著しい伸びをみている。

県酪連の五十三年度取扱乳量は、一六〇、三六八トン（前年対比一〇六・四％）であり、五十四年四月においても前年同月比一〇七・六％と前年を大幅に上回る生産の伸びである。

従って、五十三年度本県の加工原料乳は一、九一三トンの発生となり、限度数量六、五一五トンに対し五、三九八トンも超過するという極めて深刻な事態となった。ちなみに全国の五十三年度加工数量と加工率は別表(1)のとおりである。

又、五十四年度においては、御承知のとおり本県の加工限度数量は八、四二一トン（前年比二十九％増）と決定したが、四月までにすでに三、〇〇〇トンの加工が発生しており、このままの状態を推移すれば、夏までに限度数量を突破してしまうことになる。しかもこの超過分については一切補給金が貰えないのである。

この補給金が貰えないだけでなくさらに深刻な問題は、このまま生産が伸びれば生乳販売面での産地間競争がますます以上に激化し、本県の乳価が他県に比べて極度に高つくくならぬ、入荷量の増大も伴って乳業メーカーの受乳拒否の問題が生じかねないことである。

## 生乳需給調整(計画生産)の課題……

さきに中央酪農会議が音頭をとって日本酪農の安定、発展を図るため全国各県の五十四年度生産目標を提示した。これによると牛乳消費を六、五％拡大するとして、全国の生産目標を前年比一〇二・八％（六三三・三万トン）、本県は一〇一・八％（一六三・二五〇トン）としている。ただ消費の伸び悩みの現状からみると、もっと努力しなければならないが、六・五％消費増の見込みは願望に問題が生ずると思われる。

需給調整(計画生産)を行うための具体的な方法手段を次に掲げる。

- ①粗飼料の給与を増大して濃厚飼料の削減をはかる。
  - ②経営改善のため低能率牛の肉用化を推進する。
  - ③県外導入牛の抑制対策
  - ④季節別な需要の変化に対応し、季節別支払い乳価を設定する。
  - ⑤哺育期間における全乳給与の実施を計画的に進める。
- これらの需給調整対策の実施に当たっては、県、県酪、会員組合一体となって、協調連帯のもとに行わねばならない。

牛乳乳製品の消費の方は……

一方牛乳ならびに乳製品の消費量は国

五・六月号目次	
(今月の話題)	1
牛乳の消費拡大運動を進めよう	1
(試験場)	
昭和五十四年度重点研究課題	4
酪農試験場	7
和牛試験場	9
(普及園芸課)	
乳牛に運動を……田淵真一	9
(団体便り)	
中央会	12
酪連	13
経済連	14
共済連	15
畜産会	16
私の趣味	19
新連載	
渡辺元治	19

飼料添加物

高単位ビタミンAD<sub>3</sub>E剤

# Dauve's ドウズADE

## 成分

本品1g中

- ビタミンA油……………50,000 I.U. (ビタミンAとして)
- コレカルシフェロール…………… 5,000 I.U. (ビタミンD<sub>3</sub>として)
- 酢酸トコフェロール…………… 20 I.U. (ビタミンEとして)
- プロピオン酸ナトリウム…………… 3mg

## 特長

- 1) ビタミンA・D・Eの粒子はそれぞれ特殊コーティングされているために、濃厚飼料に混合しても安定性がよく、しかも保存性に優れています。
- 2) 含有ビタミンは微粒子で、体内(腸管)吸収は速やかにおこなわれます。又、製品は均一になるよう製造されています。
- 3) 基剤は小麦粉使用のため嗜好性が良く、濃厚飼料に容易に混合できます。

## 〔ゼンヤクの固型塩グループ〕

〈一般用〉

〈グラスステタニー様疾患予防用〉

ガリン錠塩

錠塩エム

〈肥育牛の尿結石症予防用〉

固型カウストン

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

# バイミルク



牛 乳 拡 売 実 績

表 2.

組 合 名	酪農家 戸数(戸)	目 標 数 量		拡 充 数 量			獲 得 数 量		目 標 達成率 (%)
		200 cc換本	kg換算(90日)	200cc(本)	500cc(本)	1000cc(本)	200cc 換 本	kg換算 (90日)	
岡 山 市 農 協	5	140	2,596	125	5	3	152.5	2,827	108.9
旭 東 酪 "	249	6,970	129,224	2,541	215	47	3,313.5	61,432	47.5
一 宮 町 "	14	390	7,231	-	-	-	-	-	-
御津中部酪 "	15	420	7,787	24	2	-	29	538	6.9
加茂川町 "	42	1,175	21,785	192	16	1	237	4,394	20.2
児 島 酪 連	57	1,595	29,571	658	61	8	850.5	15,768	53.3
熊 山 町 農 協	8	225	4,172	-	-	-	-	-	-
瀬 戸 町 "	7	195	3,615	-	-	-	-	-	-
山 陽 町 "	7	195	3,615	-	-	-	-	-	-
倉 敷 酪 農 "	24	670	12,422	63	12	5	118	2,188	17.6
水 島 酪 農 "	58	1,625	30,128	206	10	7	266	4,932	16.4
中 備 酪 "	9	250	4,635	10	-	-	10	185	4.0
足 守 町 "	33	925	17,150	-	59	-	147.5	2,735	16.0
総 社 市 "	13	365	6,767	-	-	-	-	-	-
山 陽 酪 "	142	3,975	73,697	432	541	74	2,154.5	39,944	54.2
新 山 "	16	450	8,343	-	-	-	-	-	-
美 星 町 "	96	2,685	49,780	615	-	-	615	11,402	22.9
矢 掛 町 "	10	280	5,191	25	2	-	30	556	10.7
浅口酪農加工販売 "	45	1,260	23,361	324	63	24	601.5	11,152	47.7
芳 井 "	35	980	18,169	85	25	-	147.5	2,735	15.1
高 梁 市 "	72	2,015	37,358	62	273	171	1,599.5	29,655	79.4
賀 陽 町 "	90	2,520	46,721	448	165	52	1,120.5	20,774	44.5
北 房 町 "	37	1,035	19,189	236	-	-	236	4,376	22.8
有 漢 町 "	14	390	7,231	11	24	7	106	1,965	27.2
高 梁 "	5	140	2,596	31	17	1	78.5	1,455	56.1
成 羽 町 "	23	645	11,959	39	100	16	369	6,841	57.2
巨 瀬 "	9	250	4,635	-	41	-	102.5	1,900	41.0
川 上 町 "	43	1,205	22,341	-	15	-	37.5	695	3.1
阿 新 "	26	730	13,534	243	141	13	660.5	12,246	90.5
ホクラク "	1,210	33,860	627,765	6,315	64	33	664.0	123,106	19.6
美 作 酪 "	118	3,300	61,182	185	-	-	185	3,430	5.6
西大寺農協(金田)	9	250	4,635	40	-	-	40	742	16.0
赤 坂 町 "	4	110	2,035	-	-	-	-	-	-
和 気 "	18	505	9,363	166	2	-	171	3,170	33.9
真 備 町 "	1	25	464	-	-	-	-	-	-
倉 敷 市 "	1	25	464	-	-	-	-	-	-
備 中 町 "	17	475	8,807	141	60	9	336	6,229	70.7
合 計	2,582	72,250 (14,884kg)	1,339,515	132,217	1,913	471	2,035.45 (4,193kg)	377,372	28.2

や乳業者など関係者の努力にも拘らず、  
飲用牛乳で五十一年度が前年比一〇三%  
五十二年度が一〇五%と乳製品ともども  
生乳生産量と比較して伸び率の低いのが  
目立つ。  
これには天候も多分に関係している  
と思われるが、経済不況がこれら消費の減  
退を招いているものと考えられる。

第一期岡山県牛乳消費拡大  
運動の実績は……

全国牛乳普及協会の事業の一環として  
農村牛乳消費促進拡大事業を実施するこ  
ととなり、生産者自らも牛乳の拡売に取  
り組むことを内容とする「緊急飲用牛乳  
消費拡大特別事業」を実施する運びとな  
り、本年一月～三月にかけて県酪連に、  
「岡山県牛乳消費拡大本部」を設置して  
総事業費一、一七八・八万円を使って活  
動した。  
期間中は会員組合の役員、酪農家特  
に酪農婦人は慣れないセールスであつ  
たが、一つの責任感をもって真面目にそ  
して真剣に活動した貴重な体験の結果は、  
折角得意を取ったにも拘わらず一週間た  
つても牛乳を配達してくれない等、消費  
者からの苦情があいつぎ、乳業メーカー  
と販売店の反省を促しているところであ  
り、このような問題はあったものの拡売  
の成果としては別表(2)に示すとおり一〇  
〇cc瓶で一日量として二〇、三五五本を  
新規拡売している。

これが今日現在も引き続いて配達され  
飲用されているならば一日四トン、月間  
二二〇トンの消費増であり岡山県の牛乳  
消費拡大に大きな貢献をしたこととなり  
潜在消費量の大きいことを思わせるので  
ある。

第二期岡山県の牛乳消費拡大  
運動……

恒久的な酪農の安定基盤をきずくため  
には「販売なくして酪農なし」といわれ  
るように、消費拡大が最優先、且焦眉の  
課題であるので、全国牛乳普及協会及び  
中央酪農会議が実施する第二期緊急飲用  
牛乳消費拡大特別事業等に呼応して全面  
的な協力を行うと同時に、本県の実態に  
則した独自の牛乳消費促進に努めなけれ  
ばならない。  
そのためには次のような事項が考えら  
れる。  
①牛乳学校給食の拡大、福祉牛乳制度  
の創設等政策需要の拡大を図る。  
②農村地域における飲用機会を増加さ  
せるため、牛乳用自動販売機、シヨ  
ーケース等を設置する。  
③牛乳祭りの開催、テレビ、新聞等に  
よって一般消費者を対象に普及宣伝  
を行う。  
④牛乳料理講習会を開催する。  
⑤加工乳、乳飲料等への牛乳使用率の  
向上、国内産乳製品の生産、販売の  
増大を図る。

表 1. ⑤3年度都道府県別受託・認定と限度超過数量 (単位: kg, %)

	受託数量	前年度比	認定数量	前年度比	限度超過数量	消費率	加工率
北 海 道	1,859,553,902	108.1	1,558,573,432	108.9	65,378,432	104.4	83.81
東 北	644,316,911	108.7	180,008,036	132.3	45,428,036	133.8	27.93
関 東	1,463,871,722	107.6	121,077,155	132.8	4,002,155	149.3	8.27
北 陸	133,700,214	110.7	4,435,192	180.5	227,0192	208.9	3.26
東 海	291,314,406	106.6	135,250,63	153.2	5,420,063	166.9	4.64
近 畿	292,281,948	103.5	10,777,479	123.3	2,377,479	128.3	3.69
中国・四国	517,402,195	106.7	46,806,420	126.0	10,996,420	130.7	9.05
(岡山)	159,221,688	106.4	11,913,399	178.1	5,393,399	182.9	7.48
九 州	546,003,936	110.4	10,443,464	155.3	3,768,464	156.5	19.13
総 計	5,748,445,234	107.7	2,039,574,21	114.4	209,557,421	111.5	35.50

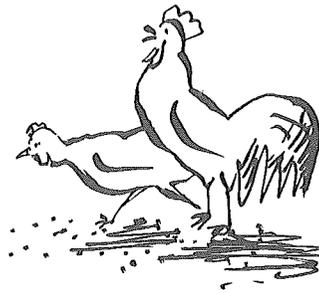
(注) 全国トータルは沖縄を除く。

酪農・乳業の健全な発展のためには、現在の生乳の需給関係を正常化する有効な一つの手段として、輸入乳製品量の削減がある。需要量に見合った量に漸減するよう政府に働きかけるべきである。

酪農・乳業の健全な発展のためには、現在の生乳の需給関係を正常化する有効な一つの手段として、輸入乳製品量の削減がある。需要量に見合った量に漸減するよう政府に働きかけるべきである。

生産者、乳業者、販売業者は…

これら三者は牛乳消費拡大に関しては一体的でなければならぬ。生乳の生産者、その処理加工の乳業者、またその製品の販売業者は、牛乳流通面で一体的に機能しなければならぬ。またそれなくしてそれぞれの健全な発展はあり得ない。



の資とするため、次のテーマに取り組みます。

一、中国地方における主要粗飼料による泌乳能力向上の研究

広島畜試、兵庫畜試との共同で、昭和五十年から四ヶ年計画で実施しており、本年度が最終年度となっております。流通飼料に依存した乳牛飼料から、自給飼料を高度に利用した飼養へ変換するための基礎として、中国地方で生産の多い、イタリアンライグラス及び、ソルガムについて、大量給与により、泌乳能力を維持向上させ、濃厚飼料を削減するための飼料給与技術について検討しています。

二、粗飼料構成の差が乳牛に及ぼす影響

乳牛の生理を無視した牛乳の高位生産の結果、乳牛の耐用年数の低下、乳質の低下がみられています。現在までに解明された技術を組立てながら、乳牛の生理の維持を図りつつ、高乳量を生産するための給与技術について検討します。

その他、新たに自給飼料として普及の見込まれる、イタリアンと混播した秋作麦、青刈稲、生麦わらの泌乳性、飼料価値等について調査して、実用化される場合の指針の作成を急いでいます。

酪試のページ

昭和54年度試験研究の方向と重点課題

岡山県酪農試験場

我国の経済が高度成長から安定成長へと大きく転換している中において、畜産をとりまく内外の諸情勢はきわめてきびしい状況にあります。このような情勢の中で県下の酪農は輸入飼料価格の安定を初めとし、水田転作、飲用乳価の引上げ等好条件にめぐまれ、飼養頭数、生乳生産量等についても順調な推移を示しています。しかし、一方で牛乳消費が伸びなやみをみせ、それに対応する生乳の需給均衡、自給飼料を主体とした牛乳の生産体制の確立が重要な課題となっております。そのため試験研究も、第三次酪農近代化計画をめざして、乳牛関係では特に飼料自給率の向上と良質牛乳の供給などに重点を置き、生乳生産費の低減と、品質の改善による経営の安定化、草地飼料作物関係では粗飼料平衡給与のための草地管理、飼料作物栽培技術の向上、水田転作による地域ぐるみの粗飼料の増産とサイレージによる流通化の推進等々、直接農家が必要とする技術開発や、体系化

を取り上げ、速やかに対処するように努力しています。

また、県下における養豚は引き続き向上き傾向にありますが、豚価の低迷など依然きびしい環境下にあり、肉豚の品質向上、純粋優良種豚の確保、繁殖率の向上などが大きな課題となっております。養豚の団地化に伴い高密度飼育が行われ、飼育環境の悪化から、その衛生対策や生産性向上のための技術改善への要望も強いものがあります。また、人工受精の普及率が低く、豚の改良のためには人工受精技術の開発と早急な普及が望まれます。その他、養豚振興施策に対応した技術の開発など、基礎的技術のみならずも急がれております。

環境保全関係では、畜産経営の專業化多頭化に伴い、畜産公害が社会問題となつて以来、各方面のあらゆる努力により、クリーンな畜産化が進められております。しかし、家畜ふん尿、排水の処理に要する経費は、経営を圧迫する形になってい

合の指針の作成を急いでいます。

二、生乳品質の改善に関する試験

生乳の品質向上、特に無脂固形分に対する関心が高まっております。これらの要請にこたえて昭和五十三年度には、地域性あるいは、飼養環境と、生乳品質の変動要因についての調査を行いました。一部において、粗飼料給与形態による差もみています。本年度も前年度にひきつづき調査を実施します。

三、育成方式の体系化と生産性実証試験

子牛の育成の基本技術についてはほぼ解明されておりますが、実際には技術体系の組合せもまちまちであり、健康で将来繁殖・産乳の良い牛の育成技術の体系化が望まれています。これらの実状に応じて「保育方式の差が發育、繁殖に及ぼす影響」、「保育方式と放牧方式の差による子牛消化器の変化と發育について」等のテーマで再度研究を開始しました。

四、その他

「発酵初乳による子牛の保育試験」では、前年度好結果が得られ、既に普及に移されていますが、本年度も試験を続けます。「乳牛の肉利用に関する研究」、「粗飼料給餌施設の開発」なども前年度にひ

き続き実施しています。

また、優良種雄牛選抜のための後代検定事業は、全国二十二道県の二十三場所が、それぞれ第一期三十頭で実施していますが、本年度は第三期目となります。現在までに、この事業で二十一頭の優良種雄牛の選抜をおわり、乳牛の改良に活用されています。本県の検定供試娘牛群は、乳量・乳質等に高い成績を示し、本県の高い技術水準がみなおされています。

酪農部一

草地飼料作関係

一、転作畑高度畑作技術確立試験

乳の出るサイレージとしてホルクロップサイレージが普及しつつあります。試験は秋作麦とトウモロコシの水田転換畑における栽培技術と、サイレージ調製流通技術について、本年度より三カ年試験を実施します。

二、転換畑高度畑作技術現地実証の調査研究

この調査研究は、基盤整備後の転換畑でトウモロコシの品種・播種密度などの栽培技術について、実際に農家の水田を使って試験をし、同時に展示も行います。

三、地域農業複合化技術開発試験

ます。家畜ふん尿等は、畜産農家と耕種農家との有機的結合によって、自然の循環サイクルに還元することが望まれるところでもあります。しかし、処理施設の低廉化、尿、汚水の処理、運搬手段や、ほ場施用時期の季節性など、困難な問題がまだまだ山積しており、多くの農家に対応できる技術の開発が切望されています。当場においても、これらの要望に早急にこたえるべく、より安価で簡易な処理法や、ほ場施用のための実用化技術の開発に力を注いでいます。

酪農部一乳牛関係

一、自給飼料の有効利用に関する研究

飼料の自給率向上と年間平衡給与技術

“あなたの畜産経営に奉仕します”

新発売飼料フレークフィード（乳牛、肉牛用）  
配合飼料、コーンジャム（とうもろこし胚芽油粕）、脱脂大豆、菜種粕

カトウ 加藤製油株式会社

大阪・岡山・名古屋・高松・下関

事業所	本社	岡山工場	名古屋工場	高松工場	下関営業所	大阪市此花区	花港5-9-3	玉野市築港	1丁目1番82号	高松市郷東	町宇乾新開	792-10	下関市中	之町10-3	〒554	電話	大阪	(06)462-0101	玉野	(0863)31-2222	名古屋	(052)651-7411	高松	(0878)82-1888	下関	(0832)22-8141
-----	----	------	-------	------	-------	--------	---------	-------	----------	-------	-------	--------	------	--------	------	----	----	--------------	----	---------------	-----	---------------	----	---------------	----	---------------



全国的に肉用繁殖牛の受胎率は、低下する傾向を示している。このような状況のもとで、規模拡大のためには労働力から放牧利用が必要となっている。放牧利用する場合、放牧中の発情発見、人工授精は各種の障害があり大きな問題点とされている。

そこで、舎飼期に発情同期化による人工授精する区三〇頭を大佐町混牧林に放牧するものと、比較的繁殖成績の良好である春から初夏にかけて人工授精する区一〇頭を場内草地に放牧するものと比較しながら、効果的な放牧利用と繁殖経営におよぼす影響を調査する目的で、本年度から着手したものである。

そして第一年度は準備年度とし、第二～三年度は授精期間をそれぞれ三カ月間とし、第四～五年次はそれぞれ二カ月間とする。

### (二) 肥育素牛の長期放牧育成がその後の仕上げにおよぼす影響に関する試験

(試験期間 五三～五五年)

山地を積極的に活用して肉牛生産をすることは、現在岡山県畜産行政の最大課題であるので、山間地原野を有効利用するねらいで、前年度より第一回の試験として着手している。方法としては、去勢肥育素牛を約二〇〇日間野草地に放牧しその後四二〇日間仕上肥育し、仕上げ体重六五〇〇gを目標としている。供試牛は放牧区五頭、舎飼区三頭を供用している。現在、肥育中期にあり、放牧区一日当

り平均増体重(以下ADG)〇・四六g(平均体重三八〇・二g、舎飼区ADG〇・七五g平均体重四八七・三g)で、現在放牧区は、代償発育をして、舎飼区を追い抜いているところで、五五年の二月に試験を終了する予定である。

そして、本年度は、理想肥育素牛の放牧育成の可能性をねらいとして、新たに去勢素牛八頭を大佐町混牧林に、本年の二月上旬まで放牧する予定にしている。二、飼料の組合せが肉用雌牛の飼料利用性と子牛生産におよぼす影響に関する研究

### (試験期間 五三～五五年)

肉用繁殖牛の飼養は、本来自給飼料主体であるべきであるが、流通濃厚飼料の依存度の高い傾向にあり、加えて粗飼料の季節的な変動は、給与する飼料の構成を一層複雑なものにしており、肉用雌牛の飼料の利用性と子牛の生産性に様々な影響をもたらしている。

この試験の経過は、昭和四七～四九年に「地域飼料による和牛の分娩前後の飼料給与指標の設定に関する研究」さらに昭和五〇～五二年に「肉用牛(和牛)の飼養管理方式と繁殖性に関する研究」で分娩前後の繁殖雌牛のエネルギー水準の変化と繁殖性と子牛生産性について追求してきたが、多様化した和牛繁殖農家に対応するには未だ不十分なために、前年度から様々な飼料の組合せによるエネルギー

ギー濃度の変化からもたらされる影響を追求する目的で、とり上げた課題である。さらに、自給飼料主体の肉用牛繁殖経営における有効な飼料の組合せを明らかにし、健全な経営の飼料指針とすることをねらいとしたものである。供試牛は牧草地放牧区一〇頭、野草地放牧区五頭、舎飼区一〇頭計二十五頭である。

そして、この試験は、前二回の試験同様、農水省中国農試畜産部の指導のもとに島根・兵庫畜試及び岐阜種畜場などの四県の共同研究で実施している。去る五月二九日～三〇日に、関係各県の試験担当者、中国農試畜産部第二研究室に参集して、前年度の試験研究結果とこれからの試験の進め方について、検討会議が開催された。

### 三、不耕起造成草地の

#### 更新技術に関する研究

(試験期間 五三～五五年)

この試験は、過去本誌にも度々紹介したので、要点のみ解説すると、急傾斜地とか露岩の多いところを草地化するためには、不耕起造成法がとられている。しかし、この方法では、前植生の抑圧が完全でないため利用管理の状態によっては、前植生の状態に戻ったり、また年がたつにつれて牧草の密度の低下などにより、期待した牧養力が得られない草地が各地にみられる。

このような草地の更新技術は、未だ明

らかにされていないため、一昨年度から山口県畜試と共同研究によりその技術の開発をねらいとして実施しているものである。

### 四その他

和牛の産肉能力向上特に肉質改善向上は、岡山県和牛に課せられた最も重要な課題の一つである。従って、本年度も和牛産肉能力検定として、直接法による検定を、本年度から衣がえした肉用牛集団育種推進事業により生産された血統・体型・資質の優れた雄牛二〇頭について前年度に引続いて実施している。

さらに、間接法による検定を前年度から継続中の種雄牛守花号、守林号、奥松号、新たに本年度から新福三号、第八正花号、糸藤号について、それぞれ実施する予定である。

また、前年度種雄牛の後代検定事業を実施して、現在岡山県和牛改良の基幹種雄牛の第一系各号が育種登録となったが、本年度は、基幹種雄牛の一方の旗頭である渡辺号の後代検定を、真庭地区と阿新地区で、新たに実施して育種登録牛にする予定である。

これらの検定事業を強力に推進することにより、当場の特徴である種雄牛の産肉能力の向上をはかり、岡山県和牛の改良に資することにも、和牛飼育農家の指標を顕現している次第である。

# 乳牛に運動を

普及園芸課

専技主幹 田 淵 真 一

最近乳牛の飼育規模は多頭化へと急激に進み、それに対応して、飼料生産に伴う機械化一貫作業体系の導入・通年サイレージ給与技術の普及による飼料の年間平供給与体系の取り組みなど、飼育管理技術は立地条件にあわせて種々工夫され、新しい技術を開発しながら省力化の方向へと努力されている。

特に、最近乳牛の飼育管理技術は、基本技術よりは応用技術が先に立ち、省力化も人の都合によって省略化となりやすく、また日常管理も直接収入につながらなければできにくく、そのことが長年の内には問題となり、経営を不安にする要因となっている。このあたりで飼育管理技術面及び経営面についての見直しが必要となって来ているのではないだろうか。特に多頭飼育であるがために、最近の乳牛は一旦畜舎に繋がると、廃用か又淘汰されるまでは、土を踏むこともなく、日の目を見ることがないのが現実である。このようなことでは、乳牛は健康を害し、長年の飼養に耐えられなくなり、ひいては、酪農経営を不安定にする結果となっ

ている。乳牛の日常管理の中で運動及び日光浴は重要な作業とされ、またその重要性を知らながら、多頭飼育のために実行されていないのが現状である。

最近、健康な後継牛づくりと省力管理から、育成牛は放飼されるようになったが、成牛では一部の酪農家の人が工夫しながら運動を実行しているのみで、大半の酪農家では運動場もないのが現実である。

適当な運動と新鮮な空気の中での日光浴は、全身の血液の循環をよくし、また胃腸やその他臓器の運動を促進する。そのことにより、飼料の利用効率は向上し、泌乳能力を増進するとともに受胎率も高まるなど種々の効果がある。特に、乳牛の耐用年数延長に關連する、カルシウム及びリンの代謝にかかわるビタミンDの生産には日光浴が必要である。

特に、最近繁殖障害が問題となっているが、その原因として、①濃厚飼料の過給、②良質粗飼料の不足、③運動不足、④搾りすぎの四項目があげられており、その中の三番目に位置づけられている。

また、不受胎の要因として、運動不足によるものが三五%を占めているともいわれており、繁殖成績向上にもつながっている。なお、適当な運動によって乳量が一〇%も増加したともいわれるなど、運動及び日光浴の効果は高い。

しかし、四～五頭の少頭数規模の場合には運動場に出したり、ひき運動することでもできたが、現在のように多頭化すると運動場はできても、牛を運動場へ出すことが困難であり、そのことが運動をさすことができない要因ともなっている。

ある酪農研究会の席上で、運動の必要性を説明したことがあるが、その時酪農家の一人から「金を出して出来ることはすぐ実行出来るが、自分の手ですることにはなかなか出来ない」といわれたことを思い出す。近年は粗飼料まで金で買うことができるようになったが、運動や日光浴は金では買うことができず、従って、実行するためには、工夫と努力が必要である。そこで実際に運動させている事例一二を紹介する。

邑久郡長船町では、畜舎に隣接して、運動場を併設した分娩畜舎を設置し、分娩前の二カ月間と分娩後の一カ月間(長い人は二カ月間)の年間三カ月間を分娩畜舎に入れて運動が自由に出来るようにしており、また、牛窓町の一酪農家は、畜舎に運動場を併設し、飼育頭数は三〇頭と多頭化しているが、この乳牛群を三等分して一日二時間づつ交替で毎日運動

場に出している。

この二事例のように、良いことは必ず実行すると言う意欲こそ、新しいアイデアも生まれ、実行に結びつくものと思われる。長船町の場合は、毎日の運動は出来ていないが、年間九〇日(長い人で一二〇日)の短かい期間ではあるけれども、疾病及び事故の発生率は少なかったといわれ、その効果はあがっている。

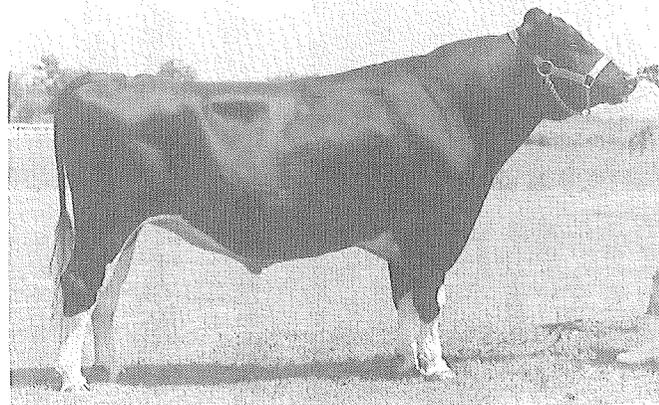
そこで運動場のことについてふれておく。運動場を設置する場所は良く乾燥し、しかも、風通しのよい南向の場所がよいが、夏には日陰が必要であり、日覆いをするか、又は庇陰樹を植えておくことが必要である。また運動場の広さは、広い程よいが、土地の制約もあり、一頭当たり六～九m<sup>2</sup>位を目安にするとういようである。

酪農経営をよくするためには、乳牛の健康管理が第一である。乳牛を健康に保つために必要なことは、日常の飼養管理技術であり、自分の経営の中で出来る方法を創意と工夫、そして実行への努力によって改善されることである。

ここでは、日常の飼育管理の中の一つである運動について取りあげたが、乳牛に必要な管理を、人間の都合で省略してはいないだろうか。日常の飼育管理状況を反省し、乳牛のために改善する努力こそ、酪農経営改善の第一歩ではなからうか。

# 新しい組織(優良乳用種雄牛選抜事業)から

## P47-3 フォーブス ルンド アイバンホー



繋養先 岡山種雄牛センター  
 生年月日 48. 8. 1  
 登録番号 43854  
 繁殖者 北海道 山岸康三牧場  
 測定値 (5-5)  
 体高 158cm  
 体長 185cm  
 胸囲 231cm  
 尻長 64cm

〈後代検定成績〉(同期比較 初産 305日 2回)

乳量	乳脂量	無脂固形分量	乳脂率	無脂固形分率	能力指数	搾乳速度	前後乳房乳量比
kg + 587.7	kg + 14.7	kg + 41.6	% - 0.15	% - 0.22	+ 12.8	kg/分 + 0.24	46.5 : 53.5

〈娘牛の体型上の特徴〉

よい点

1. 斉一性がある。
2. 乳房(特に後乳房)の付着強く質もよい。
3. 乳頭の形状、配置よい。
4. 肢蹄強い。

注意すべき点

1. 品位やや乏しく、頸から肩の移行わるい。

〈血統〉

ブロビン マウンテン アイバンホー プライド  
 39091 A R 1514 1444375 A EX-93  
 娘1,688頭平均能力(成換305日・3回)  
 8,492-318-3.8%-177-  
 U 78.7%-T 79.2  
 924組母娘比較成績  
 M+352.4 F+11.2 -0.02%

オスボンデル アイバンホー  
 1189870 A EX-90-GM  
 P D T +178 F +10(99% REP)% P Q  
 P D T +0.72 (99% REP)% T Q  
 T P I +143

リズウェル ヒル ジュウェル  
 3993901 A EX-90-GMD  
 4-10 365 2X 9,070-404-4.5%  
 6-4 365 2X 10,187-476-4.7%  
 生涯記録(2,098日)  
 48,311-2,145-4.4%

オスボンデル タイ ピック  
 848777 A EX-92-GM

クオリティー フォーブス アベカーク ゲイ  
 2471271 A EX-91-GMD  
 6-9 365 3X 13,565-508-3.7%  
 8-0 365 3X 13,633-504-3.7%

リズウェル ヒル スター トレイル プレザ  
 1198926 A

ロート スパブ エコー  
 2506026 A GP-82  
 7-6 365 2X 8,911-370-4.2%  
 生涯記録(2,321日)  
 45,059-1,848-4.1%

ローザフ シヤムロック パーシュース  
 260599 C EX-EXTRA

グレナフドン ローヤル ドラマー  
 37892 A R 1411 89.5  
 娘1,084頭平均能力(成換305日・3回)  
 8,086-299-3.7%-167-  
 U 78.1%-T 78.5  
 696組母娘比較成績  
 M+114.5 F 8.1 +0.05%

フォーブス ルンド ヒンベル ドラマー  
 914693 A R 124883 83.0  
 2-2 365 3X 9,020-323-3.6%-199  
 4-11 305 3X 10,480-384-3.7%-219  
 4-11 365 3X 11,703-430-3.7%-208  
 6-2 305 3X 8,754-320-3.7%-179

カーネーション バターボーイ プライオリティ  
 36169 A R 901 90.0

コバー オブ フォーブス ルンド フラワー  
 175790 A R 25656 78.0  
 2-3 365 3X 7,121-267-3.8%-165  
 4-5 365 3X 9,033-332-3.7%-165

# うまれた新しい(検定済) 種雄牛



自信をもっておすすめいたします

P47-3 フォーブス ルンド アイバンホー

北海道江別市 山岸 康三

私の家の牛から、後代検定候補種雄牛を作出したので協力して欲しいと家畜改良事業団から依頼を受けたのは、今から7年前でした。

私は心に深く期するところがありましたので早速承諾いたしましたところ、幸い雄子牛が生まれ、成長して後代検定の結果、私が予想したとおり、見事、立派な成績で後代検定済種雄牛に選抜され、心から嬉しく思っております。

私が現在地に分家入植したのは、昭和30年のことですが、当初、実家からマダム系を譲り受け基礎牛として増殖しておりましたが、何かもう一つ、別の系統のものを加えて改良を進めたいと考えて導入したのが、今度誕生した検定済種雄牛P47-3 フォーブス ルンド アイバンホーの祖母 フォーブス バター フラワー コバーです。

この牛は、2産分娩後に購入しましたが、体格得点81点で、能力も1万キロ以上を出し、当場で娘牛4頭を分娩し、右に示した系譜のとおり、一族がみな優秀な種雌牛となりましたので、ヒンベル系と呼び、わが家の基礎牛群にしております。

このヒンベル系の2代目がP47-3の母、フォーブス ルンド ヒンベル ドラマーで、3産目に1万1,000<sup>+</sup>を搾り、体格得点も83点を獲得しております。

そしてP47-3と同父母姉のフォーブス ルンド プライドは45、46年と連続で道央酪農

祭で名誉賞をとりました。この牛は極めて鋭角性が強く、十分な深みと体積をもち、乳牛らしさに富んでおります。

この外にも、体格85点を得たフォーブス ヒンベル バーク、51年道央酪農祭名誉賞のフォーブス ルンド シュープリム、52年同酪農祭名誉賞のフォーブス ルンド スカイラーク ジョイなどがこの系譜から出ております。

これらヒンベル系の特徴は、体格雄大で体積にすぐれ、特に深みが十分に食い込みがよく、豊乳性に富んでいることです。私はこの系譜から検定済種雄牛が誕生したことにより、ますますヒンベル系に対する自信と期待を強め、P47-3も必ず改良の効果をあげ、全国の酪農家に喜んでいただけるものと確信しております。

当场ヒンベルの系譜

フォーブス バター フラワー コバー 81点

41年2産分娩後に導入  
 6.7才(5) 365 M10,128kg F349kg 3.4%

- 娘 フォーブス ルンド ヒンベル ドラマー 83点  
 4.11才(3) 365H M11,703kg F430kg 3.7%
  - 孫 フォーブス ルンド アイバンホー (P47-3) 同父母姉弟
  - 孫 フォーブス ルンド プライド 83.5点
  - 6.11才(5) 301日 M8,639kg F335 kg 3.9%  
 45-46年道央酪農祭名誉賞
- 娘 フォーブス ルンド スカイラーク 82点  
 5.8才(4) 293日 M8,807kg F320kg 3.6%
  - 孫 フォーブス ルンド シュープリム  
 51年道央酪農祭名誉賞
  - 孫 フォーブス ルンド スカイラーク ジョディ  
 52年道央酪農祭名誉賞
- 娘 フォーブス ヒンベル バーク 85点  
 4.1才(3) 305日 M9,559kg F341kg 3.6%

# 中央会便り

## 認定(育成)営農団地 現地推進会議実施のまとめ

### 中央会営農共同対策部

岡山県農協中央会他三連合会では、昭和五十一年岡山県営農団地推進要綱を定めて、第二次岡山県農協三か年計画及び広域農協構想にもつき営農団地の計画造成推進を行うこととなり、五十三年度までの三か年間で三十四の認定(育成)営農団地と認定し育成強化をはかってきた。

この営農団地の育成推進については、中央会、信連、経済連、共済連の機能をあげて一体的に取組んでいるが、さらに県の関係担当職員の協力をも得てさき程昭和五十三年度の三十四団地の現地推進会議を終了し、今回その総括としてのまとめがなされたので、その中から総合評と畜産関係団地に絞って紹介する。

#### 一、総合評

水田利用再編対策及び農畜産物輸入問題等、農業をとりまく環境は一段と厳しさを増している中で各認定(育成)営農団地においては重点推進事項をかかげ、それぞれ地域に即応した営農団地の育成

強化に努められ大部分の団地において改善のあとが認められた。特に昨年より始まった水田利用再編対策に伴い、単なる米べらしてなく、水田の高度利用について模索中で対応策を早急に確立することが望まれ、このため土地基盤整備の積極的導入が実施され、また計画されている団地が多い。更に、地域複合生産体制の強化のため、土地、労働力、機械施設および副産物の補完、結合関係における組織的効率利用と物質の循環を通じ個々の経営の体質向上に努められているとが同

団地であった。作物別では特に水稲は良質米の生産対策、野菜では雨よけ栽培の導入(品質向上対策)。果樹では流通の改善向上対策、畜産では公害対策があげられ、今後、各作物とも需給関係から一段と品質向上対策が必要となるという意識のもとで対応が構えられていた。

二、畜産団地  
(一) 肉用牛(繁殖)

一、二頭飼いが主体であるため、受胎率が悪く生産量が伸び悩み傾向であったが何とか打開すべく五頭以上の飼育農家の増加を図り、規模拡大の振興策を樹てると共に施設化を行い、粗飼料の自給率向上を推進し、優良牛保留と品質向上に努めていた。

(二) 肉用牛(肥育)  
コスト低減と利益率の向上を図るため規模拡大に努めると共に、ふん尿処理については経営面を考慮し、適切な処理の研究対策を実施していた。又、耕種農家との連携、野菜果樹等との複合化等有効利用に取組み、粗飼料の増産、中核農家の育成と組織の強化に努力していた。

(三) 養豚  
養豚団地は農協で施設を設置し、生産組織の育成強化と並行して、積極的な規模拡大に努め、ふん尿処理施設を整備して強力に経営の効率化が図られていた。また、今後も一段と規模拡大を実施する計画であり、それがため広域食肉流通センターの早期実現を強く希望していた。

四、採卵鶏・ブロイラー  
採卵鶏は生産調整下にあつたが、規模拡大は困難な情勢であるが電算機導入によって、産卵率の向上を図ると共に生産者組織の育成強化に努め、経営的に成果をあげていた。  
ブロイラーは、商社攻勢下の中で系統との連携を強化し、規模拡大がなされ坪当り経営効率を高めるために努力されて

作目名	農協名	認定年度	飼養頭数
肉豚	美星町	S五一年	五七〇頭
	湯野	"	三九二〇頭
肉用牛(繁殖)	津山市	S五一年	一、二八〇頭
	加茂	"	一、二八〇頭
	奥津町	"	一、二四〇頭
	上齊原	"	一、二四〇頭
	富村	"	一、二四〇頭
	湯原町	"	一、二四〇頭
	美甘村	S五三年	一、五六〇頭
	新庄村	"	一、五六〇頭
肉用牛(肥育)	美星町	S五二年	八七〇頭
	昭和町	S五一年	七〇六頭
	賀陽町	"	一、一五〇頭
採用鶏	芳井	S五一年	一四万羽
ブロイラー	奈義町	S五一年	九万羽

備考 飼養頭数については認定年度時点による。  
畜産関係団地以外の作目別団地数  
(米麦 七、果実 七、野菜 八、い草)

## 実用的ふん尿処理技術の 一層の普及推進が必要

### 岡山県家畜ふん尿処理対策協議会総会を開催

五月二十二日、農協中央会会議室において、岡山県家畜ふん尿処理対策協議会総会を開催、昭和五十三年度事業報告、昭和五十四年度事業計画などの決定が行われた。

事業計画では国民の蛋白質を供給するために畜産振興を図る必要があるがこの振興を阻害する要因の一つに、家畜ふん尿処理問題があげられる。家畜ふん尿は取り扱いきれぬものとして、耕土培養資材として農地への還元(土づくり)の方向で推進しているが、家畜ふん尿処理の決定的な方法がない現在、畜産農家はその処理に困惑しているのが現状で、こうした状況に対し関係機関が互に協力して実用的なふん尿処理技術の普及推進に努

### 岡山県酪農婦人協議会

#### 岩本恒子さん札幌大会へ

去る四月十九日、二十日の二日間、四国は徳島市で、西日本酪農青年婦人協議会、全酪連大阪支所主催により第百一十一回西日本酪農経営発表大会が開催されまし

た。会場には全酪連大阪支所管内から酪農家、酪農関係者が多数集り徳島県医師会館の大ホールは五〇〇名の熱心な酪友でいっぱいになりました。十九日はあい



岩本恒子さん

にくの小雨模様でしたが、毎回のことながら会場を埋めつくしたこの熱気にはおどろかされます。

この大会にも岡山県酪農婦人協議会から岩本恒子さん(旭酪婦人部)赤磐郡山陽町)を代表として送り出しました。岩本さんは岡山県酪農婦人協議会の第六回研究発表大会で最優秀賞を獲得されております。

岩本さんの出身である旭酪婦人部では貸切バス一台を任立て応援にかけつけて来ました。そのほか岡山県下から多数の応援が参加し、またホクタク農協からも二名がこの大会で経営発表をしました。発表者は七名で、岩本さんはちょうど真ん中の四番目にあたりましたが、岡

山大学在学中、詩吟できたえた良く響く声でどうとうと発表し、発表内容もさることながら、すばらしく落付いた態度で発表を終りました。

ご夫婦共岡山大学卒ですが、一〇年前県営住宅用地進出によって耕地を買い上げられてからは、未利用の山地放牧と取り組み、哺育から、つまりゼロから現在の二七頭の成年飼養へと経営の確立をなしとげられており、借入金といえは当初の七三万円だけという効率の良さです。これまでは人里はなれた山地での筆舌に表わせない苦勞の連続であったことでしょう。

こうした努力から生まれた経営の成果と、山地利用のすばらしさがみとめられ、多くの強敵とせりあつて第一位、最優秀賞に推されました。

こうして岩本さんは、来る八月一日、二日、札幌市で開かれる全国酪農経営発表大会で発表することとなりました。これで岡山県酪農婦人協議会からは連続五回全国大会へ進出したこととなりました。岩本さんの大いなる健闘を願いたいです。

四月も下旬、南国四国、吉野川の河原のイタリアンは青々と生い茂り、昨日来の雨で更に光っていました。札幌での夢を胸に描きながら一行は岡山へと帰って来ました。

# 県経済連便り

## 第四回

### 全国和牛能力共進会準備始まる

前回の和牛産肉能力共進会は五二年宮崎県で行なわれ、その反省と今後の和牛対策についてききに県と関係団体とで協議し、和牛減少防止対策と改良目標の設定等、和牛の振興について、地方振興局単位の地区推進協議会を設けて強く進める申し合わせをした。

県段階においてその第一歩として昭和五七年和牛改良八〇周年記念行事として開かれる第四回全国和牛能力共進会(福島県開催)に向けて第一回の対策会議を開き今後の方向を決めた。出品条件については後述の通りであり、本年秋以降種付された胎児から出品対象となるのでその対応策として今から母牛選定を準備する必要があり経済連においては主管支所別の管内農協畜産担当委員会を早急に開いて、充分協議を重ね主旨の徹底をはかり、管内の優秀な母牛の選定を急ぐことを申し合せた。一方登録協会県支部においても繁殖母体となる優秀母牛を登録の上から抽出し、農協の母牛選定と併せてリストアップを行ない八月末を目どに系統調査に入ることを決めた。全其の出品には、系統は四代祖まで調査する必

要があり、登録協会県支部において系統チェックを行ない個体、系統の優れた母牛に対し、指導班の体制を整えたいと指定交配等の指導から始めることとした。出品資格及び条件は、ほぼ五二年と変わっていないが特に強調された点を次に述べる。

出品区分	区別	日種	生後月令
出品区分	第一区(若雄の二)	黒毛	一五〜一八ヶ月
	第二区(若雄の二)	黒毛	一九〜二二ヶ月
	第三区(若雄の三)	黒毛	二三〜二六ヶ月
	第四区(若雄の二)	黒毛	二四〜二六ヶ月
	第五区(若雄の二)	黒毛	二七〜二九ヶ月
	第六区(若雄の三)	黒毛	三〇〜三三ヶ月
	第七区(若雄の四)	黒毛	三四〜三六ヶ月
	第八区	無角	同上
	第九区	黒毛	同上
	第十区(繁殖母牛)	黒毛	二八ヶ月以上
	第十一区(高等登録群)	黒毛	二六ヶ月以上
	第十二区(繁殖母牛群)	黒毛	四八ヶ月以上
	第十三区(首種登録群)	黒毛	二〇ヶ月以上
	第十四区(去勢肥育牛)	黒毛	二五ヶ月未満

出品条件の変わったところ  
 第一区〜三区共通条件では  
 ・出品は全て自県産で、原則として本会認定改良組合内で生産したものとする。  
 ・出品牛の系統を四代祖まで調査した結果が遺伝的不良形質出現に関する登録不台格の判定基準に抵触してはならない。  
 ・一区〜九区の出品牛は一八〇日令補正体重が一九〇kg以上であること。  
 ・三六五日令補正体重が雄で三九〇kg以上、雌では二九〇kg以上であること。  
 第一区〜三区  
 ・出品は産肉能力検定(直接法)済のもの。  
 ・DG一・二kg以上、但しDG一・一kg以上の場合その父牛が有種登録の場合出品出来る。  
 ・飼育期間は一区三ヶ月・二区六ヶ月・三区一〇ヶ月以上  
 第一〇区 新設区で中国・九州地区は出品を辞退すること(新興地用)  
 第一二区 二七ヶ月未満初産分娩を規定し分娩間隔平均一五ヶ月未満とし出品牛は何らかの血縁関係があること。  
 第一三区 一二ヶ月以上の飼育期間となる。  
 第一四区 父牛が有種登録でない場合は産肉能力検定(間接法)でDG〇・八kg以上、又は脂肪交雑(二・五以上の

もの  
 今回の産肉能力共進会の主催者である登録協会本部の考え方は、個体出品から群出品への方向が示されており、それは集団の向上へと大きく底辺の充実が要求されてきたわけである。従って今後全国和牛能力共進会での成績いかんが、その県の和牛の評価に結びつき、販売戦略にも大きく影響するので、本県に於ても岡山牛の価値を高め、販売を有利に導く為に、次の全国和牛能力共進会に向かって最善の努力をする必要がある。  
 その事が今後和牛振興にも大きく役立ち、その手はじめとして、本年の県畜産共進会に和牛の群出品を取り入れる事に踏み切るなど、次の全国和牛能力共進会に完全優勝を自ざし、県関係団体、一丸となって着々と準備を進めており、関係皆様の理解と協力を切に願っています。

## 農業共済連便り

### 矢掛町と八束村に

#### 家畜診療所開設

##### 岡山県農業共済組合連合会

県農業共済連では、岡山県家畜診療組織整備計画に基づき、家畜診療所の拡充強化と家畜診療施設の整備をすすめてきました。本年四月一日の矢掛町と八束村にそれぞれ地元関係各位の要望により左記のとおり家畜診療所を開設しました。家畜診療所は組員等の負担の軽減と受益の増進を図ることを目的として次の業務を行います。共済家畜の診療・損害防止・引受検査及び評価・家畜共済の普及及び加入の推進・畜産諸施策に対する協力・その他目的達成のため必要とする業務などです。

○矢掛家畜診療所  
 開設場所 矢掛町矢掛三二一八一  
 電話 昼 〇八六六八一二一〇二〇  
 夜 〇八六六八一二一八二一  
 担当獣医師 国司 行男  
 ○真庭北部家畜診療所  
 開設場所 八束村大字中福田二八〇一四  
 電話 昼 〇八六七六六一二五一七  
 夜 〇八六七六六一二五一九  
 担当獣医師 藤間和昭

なお、現在の県下の本会直属の家畜診療所ならびに職員(獣医)の配置は次表のとおりです。

診療所名	職名	氏名	診療所名	職名	氏名
岡山北部総診	所長	山本 昭	津山総診	所長	池上 仁之
岡山家畜診療所	技師	沖田 詞延	津山家畜診療所	所長	安東 昭雄
建部	所長	仲 克己	"	主任	高橋 充雄
"	"	城本 純一	"	技師	細川 護
"	"	加茂川支所	"	主任	武本 利文
岡山南部総診	所長	小西 三郎	"	技師	鳥越 晋
西大寺家畜診療所	所長	神崎 忠勇	奥津支所	技師	山本 幹男
呂久	所長	明石 秀明	久米家畜診療所	技師	二村 治司
"	主任	高木 正従	"	技師	酒井 敬二
"	"	亀森 泰之	旭支所	所長	寺本 督司
児島	技師	松岡 猛司	久米南家畜診療所	技師	田中 均
東備	所長	河股 源太	中央	技師	柏内 英雄
井笠総診	所長	大月 一雄	棚原	所長	灰原 弘
井笠南部家畜診療所	所長	佐伯 幸男	勝英総診	所長	山下 貴
井笠北部家畜診療所	主任	妹尾 秀昭	勝英家畜診療所	技師	伊達 謙太
矢掛	"	国司 行男	"	主任	西崎 完治
高梁総診	所長	大森 繁男	"	主任	木梨 真富
高梁家畜診療所	技師	本田 裕之	"	技師	平松 和明
"	技師	石田 博孝	"	"	"
北房	所長	中島 幸晴	"	"	"
川上	所長	藤井 忠	"	"	"
賀陽	所長	神原 高一	"	"	"
"	技師	難波 正	"	"	"
阿新総診	所長	仲田 卓弥	"	"	"
"	技師	忠田 忠美	"	"	"
大佐支所	技師	井戸 昭一	"	"	"
真庭北部家畜診療所	主任	藤間 和昭	"	"	"
合計			診療所		七名
			支所		三七名
			同		四七名
			支所		四八名

# 第七回全日本ホルスタイン

## 共進会の出品対策を協議

去る五月九日、県酪連主催の下で、第七回全日本ホルスタイン共進会の出品対策の打合せ会が岡山市磨屋町ニッショウビルで開催された。

第一期は、出品牛の約三倍の頭数が出品されるが、本県は一月中旬に第二期の審査を行い、七頭を選定予定である。第二期の末期である昭和五十六年四月十五日〜十九日に群馬県前橋市で集合審査が行なわれる。

この共進会の選抜、出品のため、岡山県出品対策協議会が設けられた。会長に花尾酪連会長、副会長に三村県酪連会長、森山酪連副会長が選ばれた。選抜委員には、県畜産課長、県酪農試験場長、県畜産会事務局長、県酪連常任顧問が委嘱された。

なお、最終審査に出品される牛は、全国で二四〇頭であるが、本県の割当は七頭である。その内訳は未経産牛三頭、経産牛四頭である。

### 出品区分

部別	性別	年齢	産	格	名簿	割当
1	牝	12/16月	母は高等保証血統一代本初代本登録牛もしくは申込牛			有
2	牝	18/10月	同			
3	牝	20/10月	同			
4	牝	24/10月	同			
5	牝	24/10月	高等保証血統一代本初代本登録牛もしくは申込牛			
6	牝	3/4才	同			
7	牝	4/5才	高等登録二代本登録牛			
8	牝	5才以上	同			
9	牝	5才以上	母を異にする同父娘牛四頭一組			
10	牝	(父系)	母を同じくする娘牛三頭一組			
11	牝	(乳産)	(1)初産泌乳中 (2)一産以上泌乳中 (第五部より第一〇部までの出品牛)			

- 出品は登録牛のみとする。
- 審査、検定成績証明を受け、それぞれの成績が高等登録の合格標準に達しているものは高等同資格牛とみなす。
- 第五部から第八部までの出品牛は第九、十部に出品できるものとする。

二期の末期である昭和五十六年四月十五日〜十九日に群馬県前橋市で集合審査が行なわれる。

この共進会の選抜、出品のため、岡山県出品対策協議会が設けられた。会長に花尾酪連会長、副会長に三村県酪連会長、森山酪連副会長が選ばれた。選抜委員には、県畜産課長、県酪農試験場長、県畜産会事務局長、県酪連常任顧問が委嘱された。

なお、最終審査に出品される牛は、全国で二四〇頭であるが、本県の割当は七頭である。その内訳は未経産牛三頭、経産牛四頭である。

出品区分は、別表のとおりである。

出品の制限資格

- 第一部から第八部までは、一戸一頭とし、かつ第一部から第八部までの各部を合せて二頭以内とする。
- 第九部又は第十部については、一戸一頭以内とする。
- 出品牛は国内産牛で、出品人が集会審査開始日まで引続き六カ月以上所有し、管理しているものとする。
- 出品人が居住している都道府県・市町村又は出品人が加入している団体が所有し、出品人が引続き六カ月以上管理しているものは、この限りでない。
- 二四カ月以上の未経産牛は、妊娠確実であるもの。

(畜産会)

# コンサルタント事業のご案内

畜産会では、昭和三十九年よりコンサルタント事業を実施しています。皆様よくご承知と思いますが、このコンサルタント事業の内容について紹介いたします。

## 事業の概要

### (一)事業の目的

畜産コンサルタント事業は、畜産経営の健全な発展を助長するため、岡山県畜産コンサルタント事業実施要綱に基づいて、畜産農家の経営を診断し、経営改善を指導することを目的とした事業です。

### (二)事業の種類

目的を達成するために次の診断事業があります。

#### ①総合診断指導事業

市町村、農協等を受診団体とし、その依頼により、個別畜産農家の経営全般について総合的に診断分析をして、具体的な助言指導をします。

#### ②特別診断指導事業

市町村、農協等を受診団体として、その依頼により、近代化資金等の制度資金を借入れて、今後の規模拡大、施設の合理化を図ろうとする畜産農家に対して経

営計画、資金借入の是非等を診断検討し、借入後の経営技術を向上するための助言指導を行います。

③部門診断指導事業  
経営、技術の部分的改善を必要とする農家を対象として、直接農家からの要請に応じ、専門家が現地に向き、助言指導を行います。

④中核農業者育成指導事業  
診断事業を通じて、明らかにされた、受診地区の共通的な問題点について、地区全体の技術改善、経営改善のために中核農家及びその附近の畜産農家を指導します。

⑤共同利用施設等診断指導事業  
市町村、農協等を受診団体として、共同作業実施グループ等を対象として、それに係る畜産農家の経営を改善するために指導します。

⑥新畜産団地特別診断指導事業  
団地整備育成事業実施地区で、中規模経営者を育成するために、共同作業集団等の経営診断と指導をします。

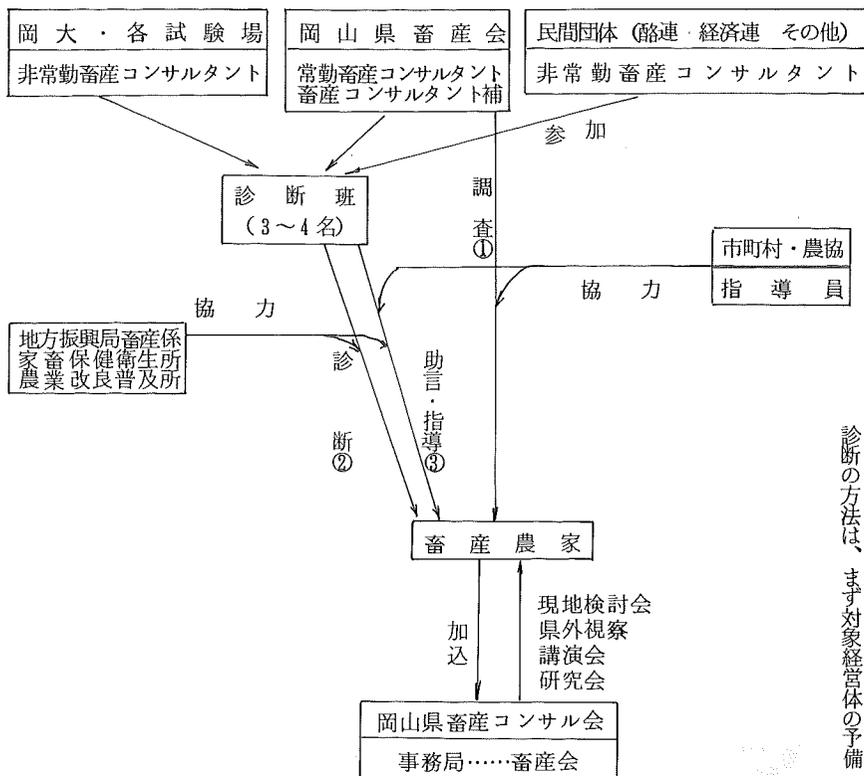
### (三)診断の特徴

診断、指導を実施するために、常勤と非常勤のコンサルタントが班を編成(三

〜四名)して現地に向きます。常勤コンサルタントは本会におりますが、非常勤コンサルタントは、岡山大をはじめ、県、団体の職員の中で、夫々の分野の第一人者の方を委嘱しています。

### (四)診断の方法

毎年度当初に、畜産コンサルタント事業促進対策委員会、診断班検討会、指導員研修会を開催し、効率的な診断方法、診断班の編成等について検討します。診断の方法は、まず対象経営体の予備



## フレーク飼料

- 肥育牛・乳牛用に抜群
- とうもろこしを蒸煮し澱粉をアルファ化した肥育牛・乳牛の新しい飼料です。

中国物産株式会社  
笠岡市笠岡 TEL 08656 ③-1110

## 畜産コンサル会

### 牛窓町で地区検討会を開催

調査を、市町村又は農協の指導員の協力を得て実施して、調査表を作成します。その調査表を基に、診断班が現地向向き診断します。その後診断班は、問題点と対策等について助言書を作成し、再び現地向向き診断を行います。

(五)受診後の指導

診断事業は年度内で一応終了しますが、それ以後の指導のために、岡山県畜産コンサル会（任意加入）に加入していただきます。コンサル会では、毎年県内での現地研修会（三〜四回）、県外視察（一回）、講習会等を開催します。また会員には、岡山畜産便りの配布、各種畜産研修会の通知をします。このように、コンサル会活動を通じて、新技術等を習得してまいります。

### 内フローチャート

図参照

以上、コンサルタント事業の概要について記しましたが、受診申込等につきましては、畜産会まで電話を下さい。

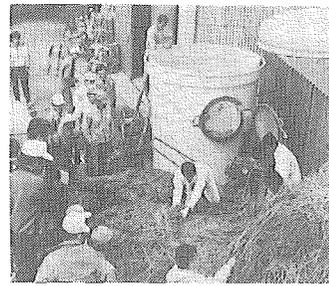
岡山県畜産会

電話〇八六一（三）八五七五



集草作業

去る五月一日畜産コンサル会（会長 牧野 勉氏）は、邑久郡牛窓町師楽でRPMサイロを使ったサイレージ貯蔵の実演を小六の協力で開催しました。牛窓町は瀬戸内沿岸の低い数多くの小丘陵によって覆われ、複雑な地形を呈して平坦地に乏しいところです。牛窓町の酪農の経営形態は、野菜、イモ類の畑作物の残りを利用した酪農経営が特徴でした。したがって従来、飼料作物の作付面積が少なく、畜産会の経営診断結果でも、成牛換算一頭当りの自給飼料作付面積は、県下でも一、二位を争う少なさでした。しかし酪農家の間で粗飼料の重要性が見直されはじめ、野菜価格の不安定なこと



サイロの詰め込み作業

もあり、自給飼料の作付面積が増え始めました。

そこで牛窓町独特の地形に対応できる小型機種を利用した牧草の刈取り、集草作業の実演と、生産した粗飼料をより有効に利用するため、従来この地域では、比較的検討されなかったサイレージについて、詰め込み技術の説明、ならびに詰め込み実演が行われました。

牛窓町の酪農家が多数参加され、終始熱心に見学され、自給飼料生産、サイレージに並々ならぬ関心を抱いていることを示していました。

なお詰めこまれたサイレージは六月中旬に取り出す予定です。

## 新連載・私の趣味

### 「面白くない漫画談」

農協中央会 営農対策部 渡辺元治

県畜産会の竹原事務局長さんから、畜産関係各位の隠れた特技を随筆として、シリーズで畜産便りに掲載する企画のお話があった時、大いに賛成した一人です。ところがその第一矢が私に当てられようとは夢にも思っていませんでした。私が企画に賛成したのは、思いもよらぬご仁が本業の余暇に思いもよらぬ特技をお持ちで、その特技もさることながら、特技のための苦心、努力、非喜交々のエピソードが期待され、読まされていたきたい一心で即座に賛成したものです。それが当方にお鉢が廻ろうとは、口は災いのもとと大いに悔やまれますが、畜産便りにおける本命であるところの、畜産の経営や管理飼養技術とか、政策学術的なかたい内容の頁の中にあつて、炎暑の長い道で出合った木陰のように読者の疲れをいやす一頁が欲しいことと、思いもよらぬような執筆者の隠された特技とその

体験への期待は大きなものがあります。そこでこの企画を実現の上、大いに続けたいと思います。読者の皆さんと共に次号からの記事に楽しみと期待をおきまして、私の場合特技などとはとんでもない拙技談で責をふさがせていただきます。

実は私に要望のあった特技とは漫画を描くことですが、誰がそんなことを推せんされたのか不思議です。漫画を描くことは既に五年程離れております。離れる動機は勤務先の業務で管内出張にスクーターを走らせさせている時、鉄道線路の踏切りで一時的停止を怠りそのまま突走り、当然お巡りさんに交通違反でつかまってしまいました。私はスクーターに乗って発進以後漫画の構想を練り乍ら運転していたもので、線路の無人踏切なぞ眼中になかったわけです。この失敗の時考えまなかつたことをしているところ後飛ん

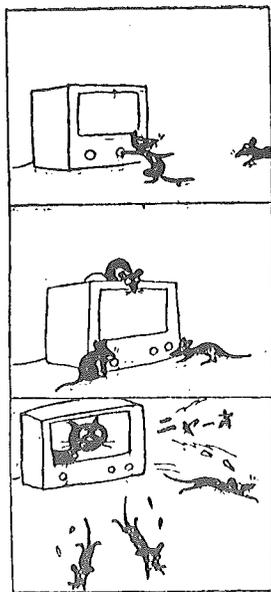
だ事故のものになるし、酷しい社会環境にあつて本業に差し支えたのでは申し訳ないと思つたからです。

漫画を初めたのは昭和十二年、当時の少年をわかつていた漫画は「のらくろ」で田河水泡さんによる少年倶楽部の連続漫画でした。この漫画のストーリーと画風に魅せられ、その画風を真似て「のらくろ」の模写に励んだものです。学校で授業の合間に描いているのを見た友人から所望され、差しあげて大よろこびされました。多くの学友に本気で描いて配ったものです。そして今の山陽新聞社の前身で合同新聞社が小学校向けに合同小学新聞を出していました。これに投稿して昭和十二年三月五日版に掲載されました。はじめて自分の描いた漫画が新聞に採用され印刷された喜びは大変なもので、これで病みつきになり、つづけて投稿し、更には毎日小学新聞にも投稿し掲載され

て少年の私は漫画家になることを夢見るようになり、ある日の新聞広告欄で漫画通信教育のあることを知りました。

この講義録は当時の私には勉強になりました。それまで田河水泡の画風に傾倒してその画風を真似ていたものですが、それでは将来性は無く、自分としての画風の創造が必要で、そのためにはデッサン（素描）を十分に行い対象物を止しく描くことが基礎で、そのかたわらあらゆるもののスケッチを行うことが必要であり、更に漫画では人間を主体に動物の動きの表現が大切であり、その表現のためにはクローキー（対象物を最少限必要簡略な線で描く）を身につなければならぬこととです。漫画を描く以前に重要なことの基礎技術の必要を知ったわけですが、そのうち学校を卒業したので親父さんに頼んで半年程家の手伝いをし乍ら、この技術に取組むことを許されました。デッサ

### (秀)(作) テレビジョン



サンデー毎日 昭和28年1月11日号

牛の健康、緑の牧草は  
タンカルで良い草を!

効めの早い タンカル肥料  
持続性のある 土改1号、2号



足立石灰工業株式会社

岡山県新見市足立 TEL (08679) 5-7111

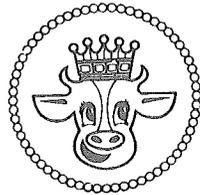
# 乳は国産 エサは全酪

団結は力！  
系統利用は団結の象徴

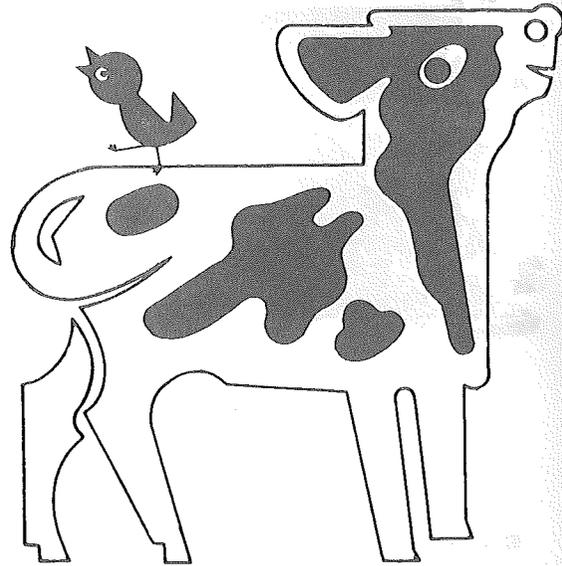
最高水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系  
(乳牛の飼料は専門的全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。  
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。  
幼牛用、搾乳用配合飼料。  
その他酪農用飼料資材全般。  
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！  
全国酪農業協同組合連合会



近代農業化のための建築を

## (株)石津建築設計事務所

岡山市天瀬南町 3 - 9 TEL 22-7023

岡山畜産便り (五月号)  
第三〇巻 第五号 (通巻第三〇七号)  
昭和五十四年五月二十五日  
発行人 花尾 省 治  
編集人 石井 敏 雄  
発行所 岡山市磨屋町九一八  
岡山県農業会館内  
岡山 県 畜 産 会  
電話・岡山〇八五七五番  
振替・岡山 八五七五番  
岡山市丸の内二一  
ふじや高速印刷所  
電話・岡山〇四九五一番  
一部一八〇円(送料共)

昭和五十四年度も、はや三カ月を経過しましたが、本県の畜産業界の話題も事欠かぬ情勢が続いています。日く、牛乳の生産調整、日く、肉用牛子牛価格の高騰、日く、飼料価格の値上げ等々、いずれも今後の畜産の動向に重大な影響を及ぼすと思われることが続々とつづいて来ているように、本年度の畜産は益々多事多難のものになる気配が濃厚のようです。とくに牛乳の生産調整は、飛躍する酪農に水をさされた形ですが、生産者・乳業者、販売業者が一体となって消費拡大をはからねばならないと思えます。

あとがき

ン、スケッチ、クロッキーの時間割を造って家の用事の片手間に描くこととし、デッサンでのモデルは家族や近所の子供や家畜で、スケッチには集落をほったつき、クロッキーは家の窓で待っていて、通行人を片っぱしから描いたものです。これを超える傍らさきの通信教育社で会員制による漫画研究誌が発行されていたので投稿を試みていました。これは没の連続でした。親父さんとの約束の六か月も残り少なくなった頃です。当時叔父が産業組合の専務をしており、父を通して組合へ勤めることを勧められました。父から「漫画を描いていてもいつプロになれるか当の無いことだ。組合では職員が次々に応召されて後の採用を急ぐんだ」と聞かされ成程プロの道は険しい。それも耐える自信は有るけれど、家庭経済と叔父の話しを考えてプロ志望は断念せざるを得ないと考へ趣味で余暇に投稿しようとしたものです。

人生は解らないもので、自分の特技での生活は最高で、しようが仲々そのようには行かないものです。漫画家志望から農協系統に身をおき四十年過ぎてしまいました。漫画投稿は出来るだけ続け、戦前では講談社の幼年倶楽部、少年倶楽部、キング(漫画大園欄)戦後ではサンケイサンデー毎日の各週園紙、山陽新聞、夕刊岡山等の入選、特別応募では岡山県貯蓄推進協議会の特選で私の漫画がズバリチラシに採用されたこともあります。然

槍投げ優勝者



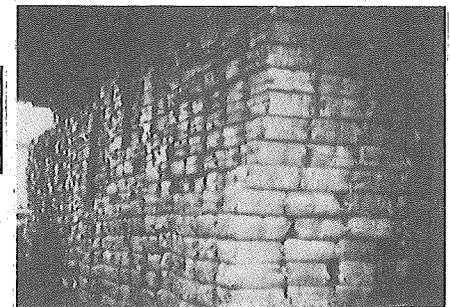
山陽新聞  
三一・十一・二八  
社会漫画欄

し漫画は絵を父として、母としてのアイデア(案)が必要で、アイデア探しに頭を使わねばならず、そのためには場所、時間の区別なく、平素の心掛が必要で、交通違反を起すようなことになるわけです。今は勤人である間は断念し、退職でもしたらもう一度自分の楽しみで描いて見たいと思っているような次第でございます。

### 稲ワラに代る乾草

## シュガーケイントップ

当社直営工場フィリピンに完成  
月産能力1,000t



(特徴) ● 芳香に富み、色彩、品質、嗜好性良好

- 価格低廉にして稲ワラとかわらない
- 年間を通じ給与できる
- 乳牛の育成と肉用牛に最適
- 1 梱包30kgで運搬に便利
- 栄養価は下表のとおり

粗 飼 料	TDN	DCP
ケイントップ	50.4%	3.2%
稲ワラ	37.8	1.1
ヘイキューブ	53.4	13.6
スーダングラス	51.8	4.7
チモシー	51.7	4.2
ビートパルプ	67.2	4.5

輸入発売元

## 阪神通商株式会社

大阪市北区芝田2丁目1-3 梅仙堂ビル  
TEL (06) 372-9825・9881  
(連絡所) 岡山県都窪郡早島町早島82  
TEL (0864) 82-0933